



# 川でむすぶ



## <事業報告>

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ①第7回夏井川かわくんだり    | ②第16回福島県水環境活動団体交流会 |
| ③第2回夏井川ウオーキング    | ④小野小学校水辺の観察会       |
| ⑤好間第4小学校環境学習     | ⑥好間第1小学校環境学習       |
| ⑦新川ひょうたん島整備意見交換会 | ⑧定例清掃              |

## <寄稿文・行事案内>

第17回福島県水環境活動団体交流会  
夏井川・好間川災害復旧事業について

## <募集案内>

20年史の記事・資料・写真

## 夏井川流域の治水・利水・河川環境の改善に向けて力強く前進を

橋本孝一

新年明けましておめでとうございます。コロナ禍が収まらない中での新年となりましたが、今年、干支でいえば、「丑年」、「先を急がず目前のことを着実に進める」をモットーに健康に留意しながら、夏井川流域の環境改善に向けて歩を進めていきましょう。

◆2019年10月12日から13日未明にかけての東日本台風は、夏井川水系に大きな被害をもたらし、一年が経過した今、破堤した堤防の復旧、河道や河川敷の土砂の除去・樹木等の伐採工事が急ピッチで進められています。ハザードマップも更新され、千年に一度の降雨量（夏井川流域では、48時間533.9mm）の想定で、堤防が決壊し氾濫した場合の浸水区域が示されました。小川町の両郡橋より下流のほとんどの地域で浸水深が3~5m、5~10mになると想定されています。このような想定に対してどのように対処すればよいのでしょうか。

◆ここ数年の豪雨災害を踏まえ、「流域治水」の必要性が強調されるようになりました。流域治水とは、築堤や土砂・樹木の撤去等、河道の流下能力の向上だけに頼るのではなく、流域全体として治水効果を挙げようとする考え方です。例えば、遊水地・森林の保全・ダムや溜池の有効活用、水田の保水機能、市街地での貯留・地下浸透設備の充実等が挙げられています。しかし、「流域治水」という考え方は、20数年も前から言われ続けてきた考え方で、特に新しい考え方ではありません。

せん。むしろ、これまで、言われてきたにも拘わらず、何故、具体化できなかったのかの検討が必要なのではないでしょうか。

◆当会も会発足20周年を迎え、新たな課題に直面しています。第一に、治水上の課題として、東日本台風を踏まえ、夏井川流域の治水はいかにあるべきか、流域住民の立場から、現在抱えている治水上の課題を踏まえ、具体的な提案をすると同時に共に行動していくことが求められていると思います。第二に、直接夏井川に接する機会を持つ活動を一層充実させることです。これまでも当会および夏井川流域の会の事業として取り組んできた事業（一斉水質調査、川下り、川沿いウォーキングやサイクリング、等）を継続発展させていくことは、直接、夏井川の現状を肌で感じ取れる機会となり、主体的に夏井川が抱えている課題と同時に夏井川の魅力の発見にもつながるものと期待されます。

◆今年、20周年記念事業として、記念誌の発行等も企画されています。設立時の初心に帰り、設立趣意書（2000年9月）にもあるように、「夏井川流域内に住む私たちは、地理・歴史・文化・風土等、様々な意味で“運命共同体”の中にあります。流域住民自らが、お互いの連帯の輪を広めながら、今後の夏井川の治水・利水・河川環境のあり方について考え、提案し、行動していくことが、子孫からの付託に応える道であると考えます。“さあ、皆さん、共に頑張りましょう。”

## <事業報告>①第7回夏井川かわくだい

田中博文

10月4日（日）いわき市平鎌田の夏井川左岸親水公園にて毎年恒例の夏井川かわくだいを行いました。今年で7回目ですが、コロナ禍で実施の決断が遅れて例年より2週間ほど遅い開催となりました。

当日は曇天で、河川水量は少ないという条件でしたが、何とかカヌー・ボートで2回下ることができました。その他にきき水と石重さ当てクイズ、水生生物調査、笹船競争も行いました。人気のアクアボールは密となるため行わなかったのですが、楽しかったという声と子供たちの笑顔に安堵しました。

今年は参加希望の声が多く、人数制限で10件ほどお断りする事態となりました。この行事はスタッフが15名以上必要で苦勞する行事です。且つカヌー・ボートの回収も制限数あるため、台数を増やせないのが実情です。来年は工夫して実施したいと思います。



練習①



練習②



ゴール地点





水生生物調査



きき水・石重さ当て



笹船競争

## <事業報告> ②第16回福島県水環境活動団体交流会

田中博文

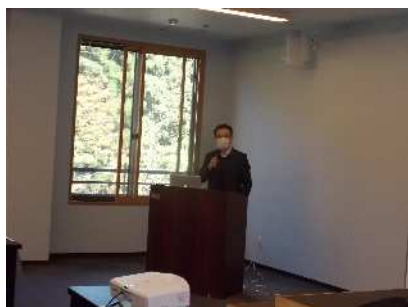
10月24日（日）福島県水環境活動団体交流会が西郷村で開催されました。平成15年より続き（一部中止あり）今年で16回目です。今回はコロナ禍の影響を考慮して時期を6月から10月へと変更し、大々的な広報も行わなかったため、参加者は少なめでした。

川の授業1校時は「西郷村堀川ダムの特定外来生物ウチダザリガニ駆除活動」で福島大教授の塘先生、2校時は「阿武隈川周辺における戊辰戦争」で白河市立中山義秀記念文学館館長の植村先生の講演、橋本代表

を座長として意見交換会が行われ、翌日の現場視察は中止でしたが、交流会後の懇親会では高橋村長も最後まで参加してとても楽しく盛り上がり、最後に次回会場「いわき」と発表がありました。県交流会の過去のいわき会場は、2008年（平成20年）に平会場で海岸線を視察、2016年（平成28年）に植田会場で四時ダムと遠野視察でした。今年はどうするか世話人会で思案中です。



代表挨拶



塘先生講演



植村先生講演



意見交換会



懇親会



2次会

## <事業報告> ③第2回夏井川ウォーキング

橋本孝一

11月8日(日)第2回目となる夏井川沿いウォーキングを実施しました。前年度の第1回目(河口～平鎌田)に続き、今回は、平鎌田～赤井駅までの夏井川堤防沿いに約6,2kmを歩きました。

当日は、快晴でやや汗ばむ日差しの中、参加者26名全員無事目的地へ。福島高専の学生さんの若い声を聴きながら夏井川左岸沿いに歩きました。今回のコースは、東日本台風(2019年10月12日の台風19号)襲来時に堤防が決壊した、鯨岡・平窪地区がコースと重なっていたため、決壊のあった現場では、福島県いわき建設事務所の方々から復旧工事の概要を説明して頂きました。復旧しつつある夏井川の姿、愛谷堰の下流部からは、白鳥が休んでいる姿を間近に見ることができました。予定より早めに平窪公民館に到着し、昼食・意見交換等を行って解散しました。

来年度は、赤井から上流へ向かい、数年先には最終目的地の源流まで踏破したいと考えています。参加して下さいの皆様大変お疲れ様でした。次年度以降もご参加下さい。



ウォーキング



四左エ門地区の復旧説明



真似井川の復旧説明



## <事業報告>④小野小学校水辺の観察会

阿部孝男

田村郡小野町の小野小学校の環境学習支援が11月20日（金）に4年生児童約80名で行われ、当会で9名が支援に参加しました。

4年生だけで80名という児童数に少し驚きましたが、小野小学校は今年度から小野町の4つの小学校が統合してスタートした小学校だそうです。

小野小学校の児童たちは朝から水源地視察などを視察したあと、滝根中学校脇の夏井川で私たちと合流し水生生物調査を行いました。時期的に寒くなってきたのと水生生物が採取できるか心配でしたが、子供たちは寒さもなんのその元気に川に入り水生生物を採っていました。

心配していた水生生物も、カワゲラ、トビケラ類、ヘビトンボ、ヒラタカゲロウ、ヤゴなどきれいな水に棲む生物を始めミズカマキリ、ヒル、テナガエビやアブラハヤなどの魚類もふくめ思ったよりもたくさん採れました。



水生生物調査を終えた後は小野小学校体育館に移動し、水質分析を行いました。検査する水はあらかじめ我々スタッフが採取を行い、「右支夏井川（飯豊）」「右支夏井川（小野町役場裏）」「夏井川（旧夏井一小前）」「夏井川（小川）」「夏井川（鎌田）」「夏井川（鎌田）」の6箇所の水質検査を行いました。

それぞれの水について12グループに分かれて我々スタッフの指導によりCODパケットテストや、におい、透視度、導電率を計測し記録して頂きましたが、初めての子供たちがほとんどで、川の水の水質が分かることに興味深く慎重に行っていました。



結果は数値を記録するばかりでなく、レーダーチャートにも記載してその地点の水質が相対的に分かりやすくなりました。

時間が足りなくなってしまうと川の水の汚れていく過程や水質改善の取り組みなどのミニ講座は残念ながらできませんでしたが、調査をとおして子供たちの川に触れたりして水環境に興味を持ってもらったかと思います。

## <事業報告> ⑤好間第4小学校環境学習

橋本孝一

今年度は4回にわたり学習支援を実施しました。当支援講座は、NPO 法人いわき環境研究室との連携事業として取り組んでいます。学校近くを流れる好間川では、前年度の東日本台風時に崖崩れ等の被害がありましたが、その後、流れの状況にやや変化は見られたものの、水深が30～50cm程度で川底にはこぶし大の石があり、安全管理に配慮すれば水生生物調査等は可能と判断され、清野校長先生始め教職員の方々の強い思いもあり、全校生29名が川に親しむ体験活動にも取り組みました。

○第1回目：7月7日（火）、「好間川の水生生物・水質調査」、3～6年生19名参加。

前日まで若干の降雨があり、実施が危ぶまれましたが、それほど水嵩も増していなかったため、実施しました。カワゲラ・ヘビトンボ・トビケラ・サワガニ・ヤゴ等の他、多数のアブラハヤやスジエビ等が採取され、参加児童も生物の種類の高さに感動していました。教室に戻ってからは、5,6年生が、予め採取しておいた河川水（好間川の水源の水、好間4小前、夏井川合流点前）の水質分析に取り組み、水質の変化の原因について考えました。

○第2回目：7月17日（金）、「好間川の源流から河口までを辿るバスツアー」体験活動。

3～6年生19名参加。

好間川の水源の一つになっている雨降山に登り、中腹の溪流の流れの様子を見ながら溪流の生き物調査。サワガニの他、サンショウウオも生息しているのを発見。その後、バスで好間川沿いに下り、夏井川本川との合流地点で流れの様子を確認後、一路、夏井川河口に到着、新舞子海岸で、太平洋を見ながらの昼食。更に河口右岸の河口親水公園では、カニ釣りや船乗り体験を楽しみました。



○第3回目：9月7日（月）、「好間川に親しむ」体験活動、1～6年生29名参加。

全校生が参加しての体験活動は、今年度初めての試みで、安全管理に万全を期すため、小学校の全教員の他、支援者9名が支援に当たりました。上級生が下級生の面倒を見ながら生き物調査、笹船競争、川流れ体験等、思い思いに川遊びを満喫していました。当初、恐る恐る川に入っていた子供たちも、慣れるに従い川遊びに夢中になる姿に、何かほっとするものを感じました。





○第4回目：11月25日（木）、「川と私たちの係わり」、5、6年生9名参加。

2019年10月12日の台風19号（＝「東日本台風」）では、好間川上流部の三和地区では、448mmの降雨量が観測され、好間川流域でも大きな被害を受けました。このような豪雨が今後も想定される中、「川」の特性や洪水対策等について考える内容の講座を実施しました。今回の講座では、特に、NPO法人いわき環境研究室が中心となって作成した流域ジオラマによる治水関連の施設等の説明、森の保水力実験、川の流れの変化を模型実験等で体験的に学習してもらいました。児童自らが実験等を通じて体験的に理解を深められたようでした。



## <事業報告> ⑥好間第1小学校環境学習

橋本孝一

5年生は、総合学習の一環として「身近な水環境について調査し、知る」をテーマに、既に9月には、学区近くの好間川松坂吊り橋直下流部で、水生生物調査等に取り組んでいました。今回の講座では、それらの結果を踏まえ、児童により理解を深めさせたいと、5年担任の先生方からの依頼で実現したものです。

支援講座は、12月10日（木）、好間1小5年生を対象に1時限でしたが、主に、好間川の水質について話をする機会をいただきました。好間川流域は、上流部は三和地区、下流部は好間地区を含んでいますが、公共下水道区域になっていないため、現在稼働している単独式浄化槽や汲取り式の場合は、雑排水が、無処理で川に流れ込むため、水質負荷への配慮が必要なことなどを中心に話をしました。



## <事業報告> ⑦新川ひょうたん島整備意見交換会

桶田隆司

11月24日、新川アリオス裏のひょうたん島付近（梅本橋～三崎橋）整備検討会が開催され、当会から5名が参加しました。当会の他、新川をきれいにする会、アリオスの方々も参加し、県いわき建設事務所から今後の整備計画素案が示され、現状、課題、整備方針等について議論しました。

この区間は、新川をきれいにする会で花植え、除草等を実施していただいています。当会でもひょうたん島・飛び石の清掃（排泥）、水路整備、除草等を年に数回行っていますが、降雨毎の堆砂が多く、人力作業には限界があります。きれいになれば、水辺を見ながら散策、アリオス利用者の休憩場所としての利用も増えることが見込まれます。会議室で図面を確認後、現地で再確認しながら意見交換を行いました。

県の整備素案説明を受け、意見・要望をまとめると、

- ① ひょうたん島に溜まった土の清掃がしやすくなるよう、くぼみ（段差）の解消。
- ② ひょうたん島に渡りやすくする現状飛び石の改良と右岸側への飛び石新設
- ③ ひょうたん島の左岸側（島と護岸の間）に水が流下しやすくする堆砂除去
- ④ ひょうたん島上下流の堆砂除却及び伐木
- ⑤ 右岸側堤防に階段護岸、花壇の設置（右岸新設と既設左岸の階段護岸を利用して川を挟んでミニコンサート、アリオス利用者と一体的に利用が可能。除草作業の軽減）
- ⑥ 左岸の現状ウエーブ階段護岸は昇降しづらい。
- ⑦ アリオス側堤防天端の老木桜（咲かない）とベンチ等の補修
- ⑧ 維持管理・利用に、学校等と協働の仕組みづくり
- ⑨ 過去に、区ごとに区間を決め、草刈等の維持活動を実施していたが、高齢化等で作業ができなくなってきている。

等の意見・要望が出されました。

いわき建設事務所渡部河川砂防課長から、「地域の方々が安全に使いやすい施設となるよう、意見要望内容を再検討し、年度内に工事発注を進める」旨の説明がありました。

この区間の整備に関し、地域の声が反映される事業の進め方に感謝するとともに、一日も早い完成と、完成後の維持管理を含めた仕組みづくりと利活用が増えることを期待しながら、当会も引き続き関わっていきましょう。



検討会議



現地確認



## <事業報告> ⑧定例清掃活動

佐藤忠

毎月第一土曜日、朝7時30分から実施します。場所は夏井川河口親水公園、新川アリオス裏ひょうたん島、夏井川河川防災ステーションです。

- 10/3 (土) 夏井川河口右岸親水公園 参加者6名
- 10/17 (土) 新川アリオス裏ひょうたん島 参加者5名
- 11/7 (土) 夏井川河口右岸親水公園 参加者7名
- 11/21 (土) 新川アリオス裏ひょうたん島 参加者7名
- 12/5 (土) 夏井川河川防災ステーション 参加者7名

夏井川河口親水公園は自然の宝庫、四季の体験、鳥の声、牛ガエルの鳴き声も聞かれます。ここは子供たち未来の体験学習のところであり、心を込めて環境整備に努めたい。雑草の茂みを一払い、一払い仮払うと目標実現です。



↑ 開いていた河口12/9

夏井川河川防災ステーションは河川洪水時、水防活動不可欠機材が備えられています。子供たちを含め、防災意識高揚の活用を望みます。



↑ 新田川魚道にサギ

新川アリオス裏ひょうたん島では、清流で貴重環境の活用を図りたい。



1月の定例清掃は1月16日(土)夏井川河口親水公園の階段土砂撤去の予定です。

## <寄稿文> 夏井川・好間川災害復旧事業について

福島県いわき建設事務所 河川砂防課 赤城直人

令和2年3月より福島県が行っている夏井川・好間川災害復旧助成事業のスケジュールは下記のとおりとなります。

### ○施工延長

夏井川： L=14.9km      好間川： L=6.6km      計：L=21.5km

### ○事業スケジュール

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
破堤箇所の応急仮工事 (大型土のう設置工事)	■					
破堤箇所の本復旧工事 (築堤、護岸工事)		■	■			破堤箇所の本復旧工事完了
狭窄部の伐木・掘削工事		■	■			※11箇所において先行して掘削しています。 一部箇所については、施工承諾を得て施工しております。
本格的な掘削工事			■	■	■	※令和2年12月時点で全長L=21.5kmの内、L=6.29kmの契約が完了し、今後順次着工いたします。
護岸工事			■	■	■	※令和3年度から令和5年度(予定)まで実施します。
用地取得		■	■			※令和2年8月より用地交渉を開始しています。

### ○R2.12月契約済の箇所について

夏井川：好間川合流点（平中塩）～愛谷堰（平下平窪） L=2, 440m  
 下小川排水機場（小川町下小川）～小玉川合流点（小川町関場） L=2, 700m  
 好間川：好間川合流点（平中塩）～R399平川橋（好間町川中子） L=1, 150m

## <行事案内> 第17回福島県水環境活動団体交流会

前掲の事業報告にも記載しましたが、令和3年度の福島県水環境活動団体交流会は「いわき会場」となりました。この先コロナ禍の影響がどうか予測できませんが、例年通り6月開催にすることを仮決定しています。内容も例年通り1日目午後から講演・各団体発表と懇親会、2日目午前から現地視察・昼食後解散の予定です。

内容・場所の「いわき」ならではの案などご意見あれば事務局または世話人へお知らせください。また今後予定に組み込んで頂き、多くの方が参加いただけますようお願いいたします。

◆開催日時 令和3年6月26日（土）13:30開始 ～ 翌27日（日）13:00頃解散



## <募集案内> 20年史の記事・資料・写真

当会は平成12年9月発足し、昨年9月で20周年を過ぎました。その節目を記念し20年史を発行する予定で動き出しております。

夏井川に係わる風俗や歴史の変遷、古い写真、皆さんの思い・意見など何でも構いませんので 当会世話人に是非お知らせ下さい。

※昨年、「大成建設自然・歴史環境基金」の助成金給付に当選し、20年史の印刷費を賄う目途がつかしました。これまで期日が延び延びとなっていました。今年度末3月を最終としてまとめる予定です。

### — 20年史 目次（案） —

はじめに

1. 夏井川流域の概要

2. 夏井川流域 NW の活動

3. 流域の会の発足と活動

4. 活動の思い出

5. 今後の発展に向けて

資料編

○募集期限 令和3年1月末

○素案作成 令和3年3月（発行6月頃）

○投稿要領

①記事は「写真等込みで、A4サイズで数行～1頁以内を目安」に御寄稿下さい。長くなる場合は、事務局で編集させていただく場合があります。

②原稿の書式は、紙媒体の場合：事務局へ郵送、電子媒体の場合：事務局宛へメールでお送りください。

③投稿の際には、氏名、連絡先をお知らせ下さい。事務局の所在等は巻末を参照ください。

※会員皆様の声を載せたいと考えています。これまでの感想、今後の希望など2～3行でも構いませんので、是非お寄せください。

## <事務局よりお願いなど>

### ■資材置き場等に係わる情報提供のお願い

当会の活動に係わる資材として水質検査用ポリタンク数十個、ゴムボート3艇、ボート船外機1個、アクアボール3個、水生生物採捕用網数十個、大型展示パネル数枚、その他備品など結構かさばる物が多く、橋本代表、事務局、他会員それぞれ個人で保管しています。

そこで、どこかに集約した資材置き場がほしいと考えています。理想としては、併せて会の拠点となる場として日頃立ち寄りできる場、さらには「夏井川資料館」となるような場所としても確保したいところです。

つきましては、できれば夏井川からさほど遠くない場所に、空き倉庫、空き地、空き家など低料金で利用可能な情報があれば、事務局または世話人へ是非お知らせ下さい。

## ■会費納入のお願い

本年度会費の未納入の方がおられます。ご確認のうえ、世話人・会員へ現金手渡し、または下記振込みでの納付をお願いします。

年会費 個人会員1000円、団体会員1000円、賛助会員5000円

振込先 口座記号番号02260-0-96555

加入者名 夏井川流域住民による川づくり連絡会

## ■世話人会に参加してみませんか

当会は毎月第1火曜日に「世話人会（18：30～）」を開催し、事業の反省や今後の在り方など、いろいろな話し合いを行っています。会議時間は1時間程度で、誰でも参加できますので、是非ご参加ください。

会場は主にいわき市文化センター（いわき市平堂根町1-4）ですが、開催日も含めて変更となる場合がありますので、世話人または事務局へご確認下さい。

※次回（今月）の1月世話人は、正月休みを考慮し第2火曜日となります。

【1月世話人会】 日時 1月12日（火）18：30～

場所 いわき市文化センター（会議室名は1階入口掲示板でご確認下さい）

～～～ 会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております ～～～  
(行事予定は下記ホームページでも案内しています)

【会報 第53号】 2021.1.1

発行 : 夏井川流域住民による川づくり連絡会 (略称:夏井川流域NW)

代表世話人: 橋本孝一

事務局 : 〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内  
田中博文 Tel)0246-88-8810 Fax)0246-88-8907

ホームページ : <http://blog.natsuigawa-karyu.net/> 夏井川流域で検索